

# 整 形 外 科

## 【実習目標】

外来で初診患者の医療面接を行い、診察法、診断および外来処置について学習する。  
病棟で入院患者を診察し、病棟での治療内容、手術内容および術後の機能訓練について学習する。  
整形外科手術を手術室で見学して、整形外科の手術的治療について学習する。  
整形外科の主要疾患を効率よく学習し、鑑別診断の方法や治療の方法について理解する。  
知識、技術のみでなく、医師としての心がまえ、態度を習得する。

## 【行動目標(到達目標)】

1. 医療面接  
患者の病態に関して、必要な情報を取捨選択し、整理できる。
2. 診断  
運動器疾患に関する視診、触診、計測、神経学的診察法について理解し、説明できる。  
単純X線検査、脊髓腔造影検査、CT検査、MRI検査の基本的事項を理解し、結果を解釈できる
3. 主要疾患の病態と治療  
主要疾患の病態を理解し、鑑別診断の原則に基づいて診療の計画を立案することができる。  
主要疾患の治療法について理解し、説明できる。  
症例を要約する習慣を身につけ、適切な時間で提示できる。
4. 術前・術後管理  
運動器疾患の術前・術後管理について理解する。
5. 手術において清潔の概念を理解し、実践できる。
6. 医師の守秘義務  
医師の守秘義務について理解し、履行できる。

## 【実習内容】

1. 月曜日のオリエンテーション時、学生1人ずつに指導医が割り当てられる。  
担当患者を指導医とともに診察し、その疾患に関してレポート作成および発表(金曜日)を行う。
2. 火、金曜日は指導医師の指示に従い、手術室で手術を見学する。
3. 水曜日の病棟総回診で、整形外科入院患者全般の治療内容と治療体系を学習する。
4. 月・水・木曜日の午前中は、病棟で脊椎・腫瘍・手・股関節・膝関節・リハビリ領域の疾患を学習、  
外来で初診患者の病歴を聴取後、診察および治療を見学する。
5. 水曜日の午後は整形外科的特殊検査を見学する。
6. 月・木曜日の午後は指導医師の指示に従い、病棟で学習する。

## 【注意事項】

1. 白衣を着用すること。
2. 手術室に入る時は、手術衣に着替え、帽子とマスクを着用すること。
3. グリーンシート(清潔、消毒済を表す)には不潔な手で絶対に触らないこと。  
もし、誤って触った場合は直ちに報告すること。
4. 患者さんに接する時の注意。
  - a. 頭髪を清潔にすること。
  - b. ネクタイをつけること。
  - c. ズボンは折り目の入ったものを着用すること。
  - d. 靴を履くこと。(下駄、サンダルは禁止)
5. 相手に不快感をあたえないような丁寧な言葉を使うこと。
6. 患者さんの情報が流出しないように厳重に管理すること。
7. 医師になるべき者としての十分な自覚を持ち、実習にあたること。

## 【評価方法と配点】

1. 実習全体における姿勢、態度、取り組み(25点)
2. 手術室における清潔の概念の習得度(25点)
3. 症例発表における疾患の理解度(50点)

[日程表]

	8:00	9:00	10:00	12:00	13:00	14:00	16:00	17:00	18:00
月	講義 久保	講義 亀井	講義 中前	外来実習、医療面接 (外)	講義 横矢	昼食	ビデオ (研)	病棟実習 (病)	
火	手術見学 (手術室)				昼食	手術見学 (手術室) 手洗い実習			
水		病棟 総回診 (病)	講義 四宮	外来実習、医療面接 (外)	昼食	検査見学 (放射線部)			
木		講義 庄司	外来実習、医療面接 (外)		昼食	病棟実習 (病)			
金	手術見学 (手術室) 手洗い実習				昼食	手術見学 (手術室) 手洗い実習			クリニカル カンファレンス (研)

担当教官

所属: 大学院医系科学研究科

安達 伸生 教授

膝関節	安達 伸生	研究科	教授
腫瘍	久保 忠彦	研究科	准教授
脊椎・脊髄	中西 一義	保健学科	教授
脊椎・脊髄	亀井 直輔	病院	准教授
膝関節	中前 敦雄	病院	講師
手	中島 祐子	研究科(運動器超音波医学)	共同研究講座准教授
膝関節	石川 正和	研究科(人工関節)	准教授
肩	横矢 晋	病院	助教(診療講師)
手	四宮 陸雄	研究科	助教(診療講師)
足	中佐 智幸	病院(未来医療センター)	講師
脊椎・脊髄	中前 稔生	病院	助教
手	兒玉 祥	研究科	助教
膝関節	亀井 豪器	病院	助教
股関節	庄司 剛士	研究科(人工関節)	助教
腫瘍	古田 太輔	病院	助教
足	生田 祥也	病院	特任助教

連絡先

久保忠彦 准教授

Tel: 082-257-5231

kubot@hiroshima-u.ac.jp